

何でも読もう会

| 書物名 | 『紅梅』 | 開催日 | 出席者 |
|---|------|------------|-----|
| 作者 | 津村節子 | 2024.11.18 | 4名 |
| <ul style="list-style-type: none">・前回の吉村昭は舌癌から一年後に膵臓癌に罹るが、それを見守り、看病をつづけた妻であり作家である津村節子が私小説的な作品を発表したのが『紅梅』である。・小説の形をとっているが、吉村一家の病気との闘いを記録に残した闘病記録になっている。 <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none">・吉村・津村は作家同士でオシドリ夫婦と言われていただけに、死を迎える夫への愛情が行間に満ち溢れているように思った。・この作品には多くの名医と言われた人が登場する。有名な作家だったからかなと、羨ましい思いがした。・吉村は看病する妻の仕事に気を遣っている様子が辛い感じがした。・吉村は死を覚悟しているようで、自ら点滴管を外したともいわれている。 | | | |